

平成30年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証シート

全体の概要

淀川	中学校
----	-----

生徒数	86
-----	----

平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール 投げ	体力合計点
男子	32.77	27.51	46.61	50.43		87.65	7.52	200.30	22.35	45.84
大阪市	29.05	27.74	41.48	52.14	410.43	85.66	8.06	192.58	20.29	41.72
全国	28.84	27.36	43.44	52.24	392.65	86.06	7.99	195.62	20.55	42.32
女子	25.53	21.43	40.33	47.36		48.68	9.17	167.72	13.15	47.92
大阪市	24.06	23.91	44.95	47.47	304.56	59.88	8.89	168.48	12.96	50.14
全国	23.87	23.87	46.22	47.37	286.85	59.87	8.78	170.26	12.98	50.61

結果の概要

全国平均、大阪市平均と比較すると、男子では反復横とびが約2%、上体起こしでは若干下回っているが、その他の項目ではすべて上回っている。昨年度の本校の結果と比べると全体的に本年度の方が上回っている。

女子では握力とハンドボール投げでは上回っているが、その他は反復横とびが同程度であるが、それ以外は下回っている。昨年度の本校の結果と比べると全体的に下回っている。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

全体的に男子は年によって結果に差がみられるが、その差は比較的小さいが、女子は年々低下している。本校は女子が参加できる体育系部活動が減少し、参加率が減ってきていることがその一因をなしているかもしれない。

一方で、働き方改革により部活動の練習時間を少なくするようになってきている。今後は短時間で集中できる練習方法を工夫することが求められる。

校舎建て替えの影響で約5年間グラウンドが今までどおり使用できなくなり、体育授業や部活動に影響が避けられない。今後は使用できるグラウンドのスペースを有効に使用できるように工夫したり、近隣の学校のグラウンドを使用させて頂いたり、また河川敷を利用しながら生徒たちの体育活動の保証と充実に努めたい。

平成 30 年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」 における淀川中学校の結果の分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、平成 30 年 4 月から 7 月末までの期間に、2 年生を対象として、「実技に関する調査」と「質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、体力等の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科も含め、総合的に子どもの体力向上をめざしています。

1 調査の目的（全国体力・運動能力、運動習慣等調査に関する実施要領より抜粋）

- (1) 子供の体力・運動能力等の状況に鑑み、国が全国的な子供の体力・運動能力の状況を把握・分析することにより、子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会、各国公私立学校が全国的な状況との関係において自らの子供の体力・運動能力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、子供の体力・運動能力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各国公私立学校が各児童生徒の体力・運動能力や運動習慣、生活習慣、食習慣等を把握し、学校における体育・健康等に関する指導などの改善に役立てる。

2 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第 2 学年、中等教育学校第 2 学年、特別支援学校中学部第 2 学年の原則として全生徒
- ・淀川中学校では、2 年生 86 名

3 調査内容

- ・生徒に対する調査

ア 実技に関する調査（以下「実技調査」という。測定方法等は新体力テストと同様）
中学校調査では、以下の種目を実施する。

〔8 種目〕 握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、持久走、20m シャトルラン、50m 走、立ち幅とび、ハンドボール投げ（※持久走か 20m シャトルランのどちらかを選択）

イ 質問紙調査

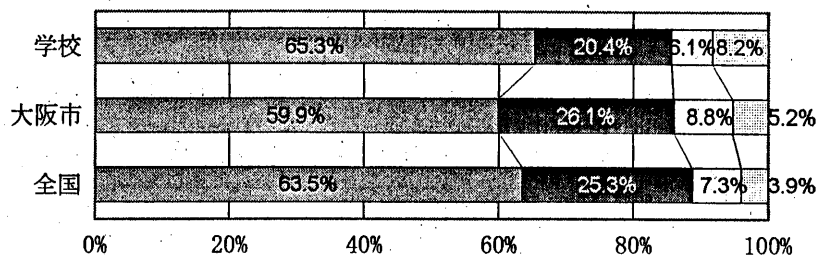
運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査（以下「生徒質問紙調査」という。）を実施する。

運動やスポーツについて(男子)

質問 番号	質問事項
----------	------

1

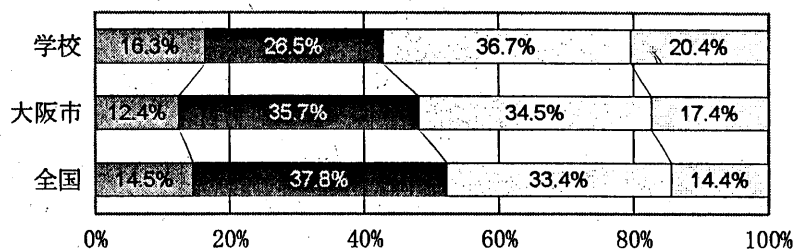
運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか



□好き
■やや好き
□やや嫌い
□嫌い

2

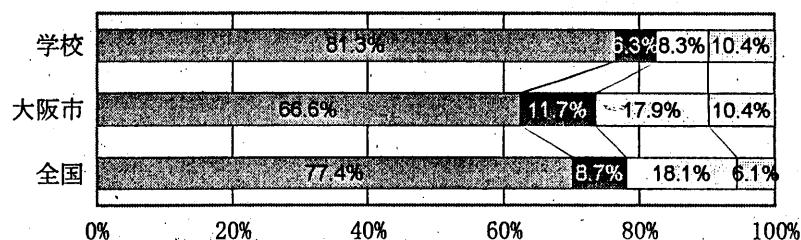
体力・運動能力に自信がある



□自信がある
■やや自信がある
□あまり自信がない
□自信がない

5

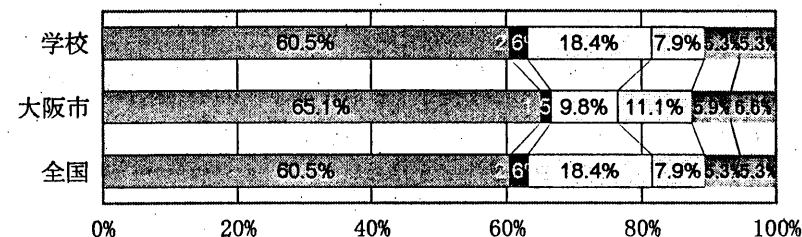
部活動や運動クラブの所属(複数回答可)



■運動部
■文化部
□地域のスポーツクラブ
□所属していない

5-3

「運動部」「地域のスポーツクラブ」に入った一番強いきっかけ



■自分から進んで
■先生に勧められたから
□家の人に勧められたから
□友だちに誘われたから
■家の人や友達が入っていたから
■その他

成果と課題

運動に対する関心は高く、部活動やスポーツクラブにも積極的に参加している。地域の環境が影響しているのではないと思われる。

今後の取組

学校での部活動の活動時間が短縮されることになる。短時間で効果を上げる練習方法を工夫する必要がある。また、生徒の自主性を重視した活動を考えることも大切である。

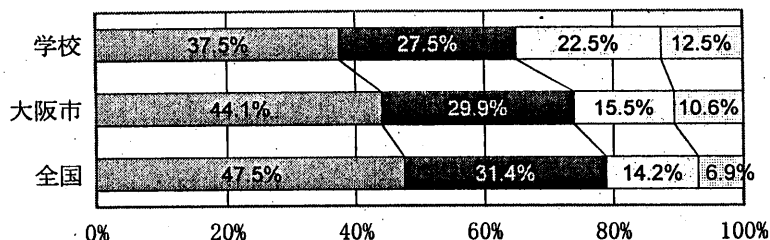
運動やスポーツについて（女子）

質問
番号

質問事項

1

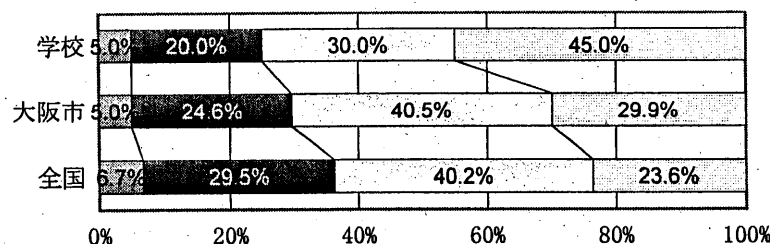
運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



☐ 好き
☐ やや好き
☐ ややきらい
☐ きらい

2

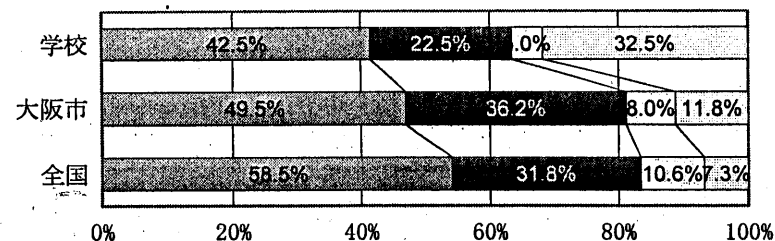
体力・運動能力に自信がある



☐ 自信がある
☐ やや自信がある
☐ あまり自信がない
☐ 自信がない

5

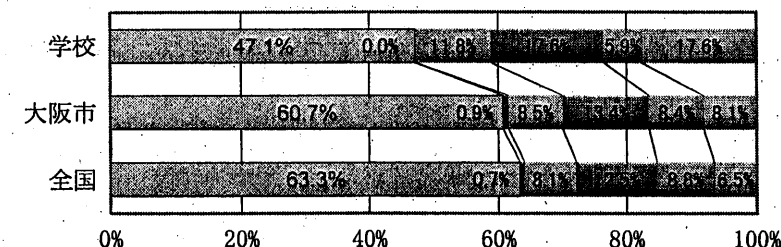
部活動や運動クラブの所属
(複数回答可)



☐ 運動部
☐ 文化部
☐ 地域のスポーツクラブ
☐ 所属していない

5-3

「運動部」「地域のスポーツクラブ」に入った一番強いきっかけ



☐ 自分から進んで
☐ 先生に勧められたから
☐ 家の人に勧められたから
☐ 友だちに誘われたから
☐ 家の人や友達が入っていたから
☐ その他

成果と課題

男子に比べると明らかに体育活動に対する関心が低下している。

今後の取組

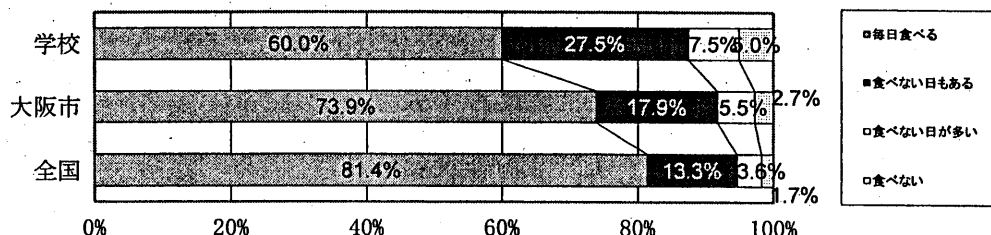
いろいろなスポーツを体験することにより、面白さを実感することが大切である。教員の異動などで困難な面もあるが、学校としても女子の運動部を活発にすることを考えることが必要である。

ふだんの生活について（男子）

質問 質問事項

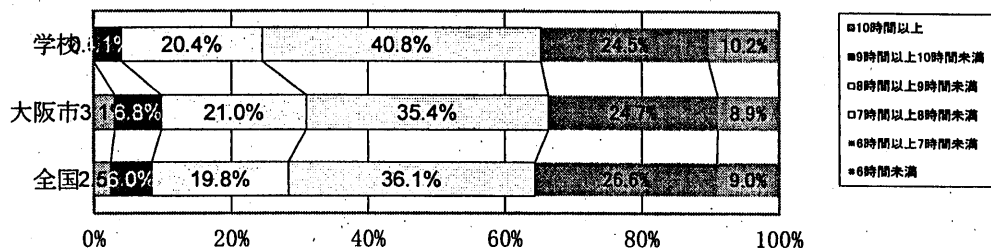
7

朝食は毎日食べますか(学校が休みの日も含める)



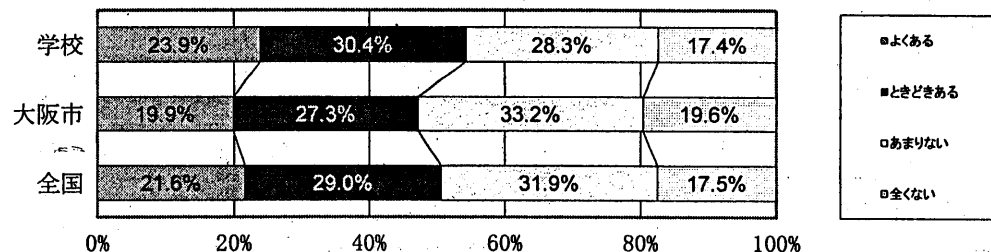
9

1日の睡眠時間



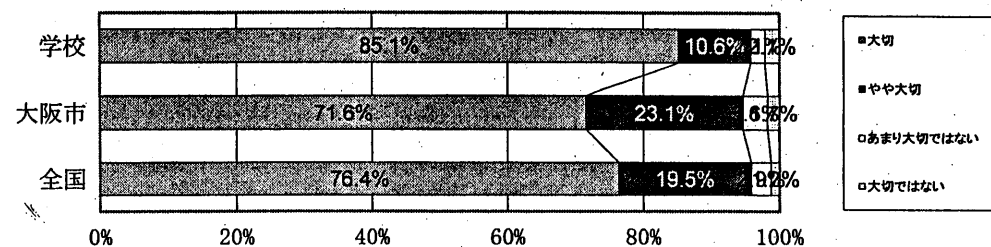
13

家の人からの積極的な運動の進め



14

健康に運動が大切



成果と課題

朝食の摂取率や睡眠時間など若干全国の比率に比べると低いように感じられる。基本的な生活習慣をもう一度考えることが必要であると考えられる。一方、家庭での運動に関する関心度や健康には運動が大切であるという意識は高い。

今後の取組

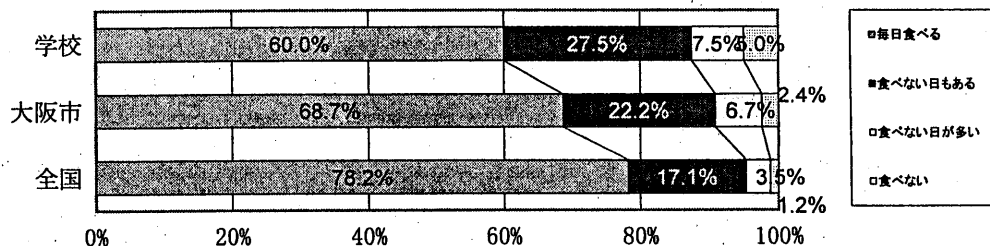
健康への意識の高さを生活習慣にも向けることが必要である。そのための保健授業の実施だけでなく、家庭への健康に関する啓発や食習慣を見直すための取り組みも考えることが必要である。

ふだんの生活について（女子）

質問 番号	質問事項
----------	------

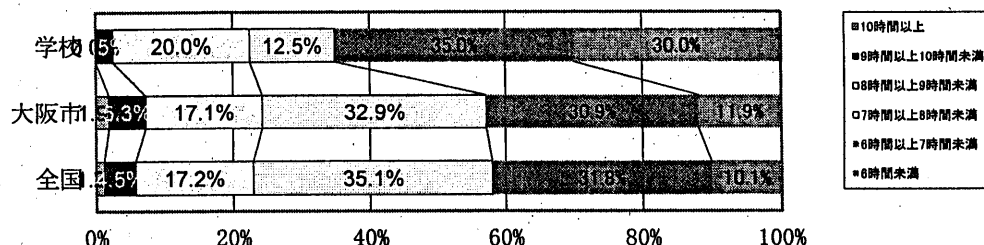
7

朝食は毎日食べますか
(学校が休みの日も含める)



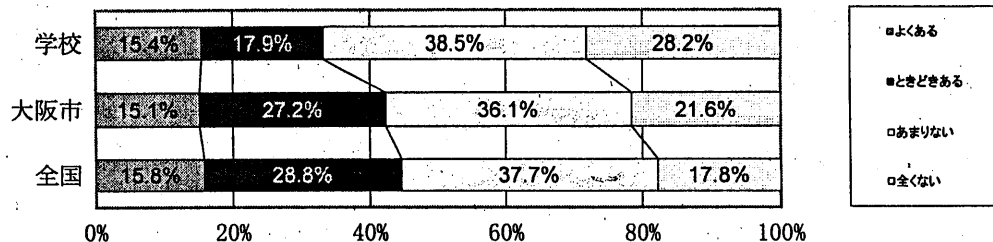
9

1日の睡眠時間



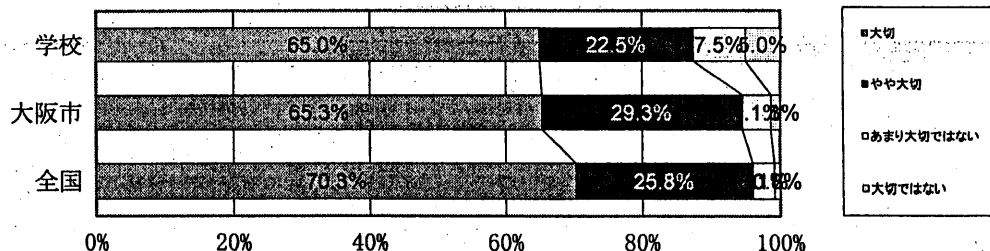
13

家の人からの積極的な運動の
進め



14

健康に運動が大切



成果と課題

朝食の摂取率や睡眠時間などの課題が顕著である。自らの健康について考える態度を育成することが大切である。

今後の取組

男子と同じ

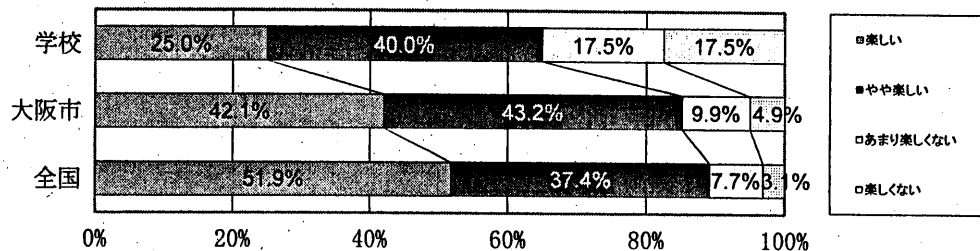
保健体育の授業について（男子）

質問
番号

質問事項

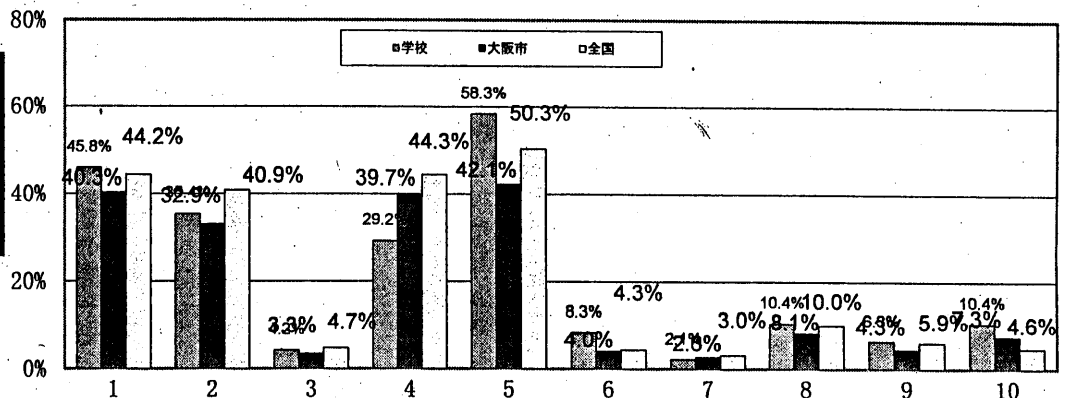
17

保健体育の授業は楽しい
ですか



24

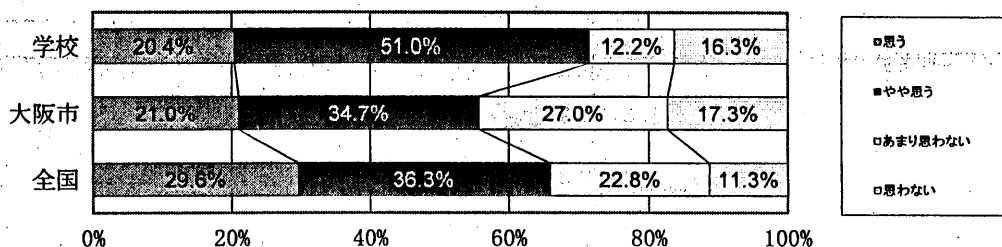
これまでの体育の授業で
「できなかったことができる
ようになった」きっかけ、理
由はどのようなものがありま
したか



- 1 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 2 授業中自分で工夫した
- 3 自分に合った場やルールが用意された
- 4 先生や友達のまねをしてみた
- 5 友達に教えてもらった
- 6 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 7 授業外で先生に教えてもらった
- 8 授業外で自分で練習した
- 9 授業外で自分で本やビデオを見た
- 10 できるようになったことがない

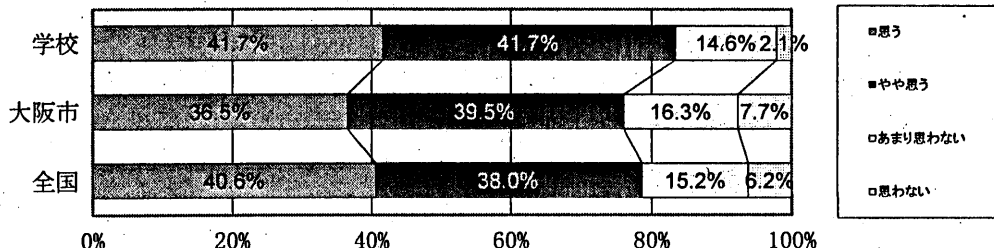
27

保健体育授業で学んだこと
を授業以外の時にも行って
みようと思う



28

保健体育授業で学んだ内
容は将来役に立つ



成果と課題

大阪市、全国と比較すると、授業に真面目に取り組んでいる様子がうかがえる。保健体育に対する興味関心が比較的高いと
感じる。ただし、否定的な回答がある限り、さらに生徒にとって楽しく意欲的に取り組める授業を行うことが大切である。

今後の取組

来年度からの校舎建て替えによるグラウンドの使用の制限などを視野に入れ、1年間を通しての計画的な授業展開を行うことが
大切である。

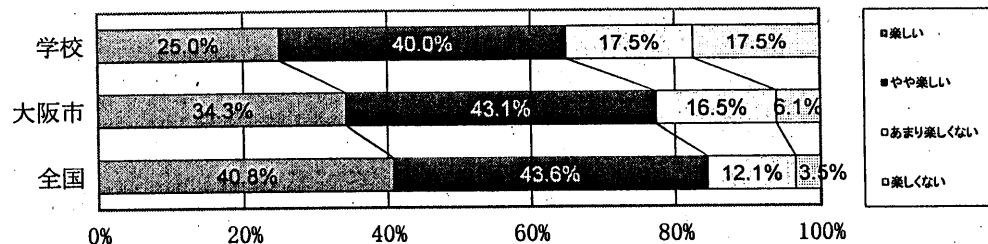
保健体育の授業について（女子）

質問
番号

質問事項

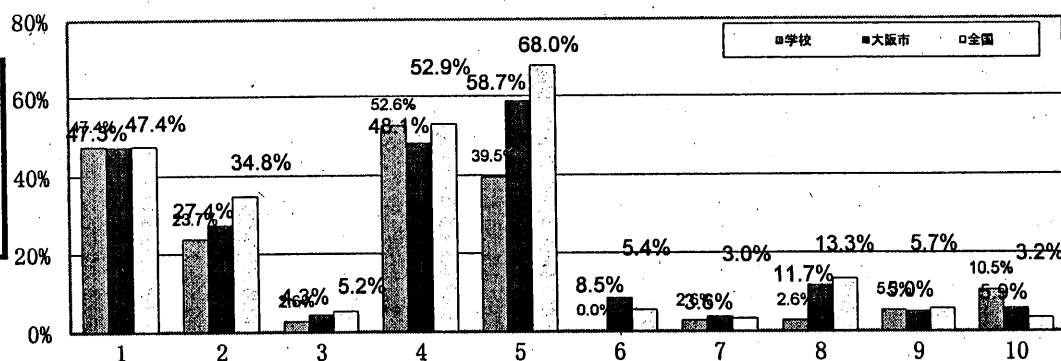
17

保健体育の授業は楽しい
ですか



24

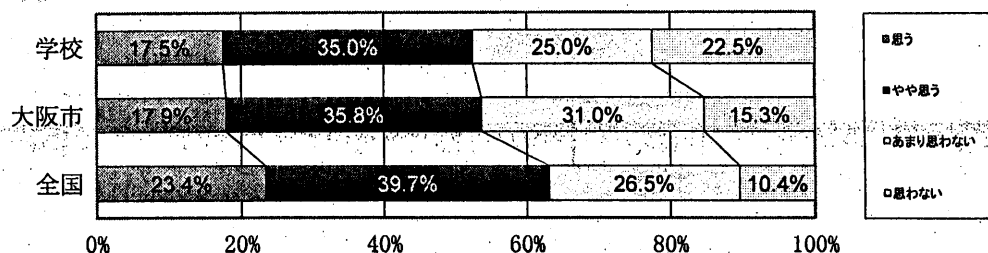
これまでの体育の授業で
「できなかったことができる
ようになった」きっかけ、理
由はどのようなものがありま
したか



- 授業中先生に個別にコツやポイントを教えてもらった
- 授業中自分で工夫した
- 自分に合った場やルールが用意された
- 先生や友達のまねをしてみた
- 友達に教えてもらった
- 授業中に自分の動きをビデオで見た
- 授業外で先生に教えてもらった
- 授業外で自分で練習した
- 授業外で自分で本やビデオを見た
- できるようになったことがない

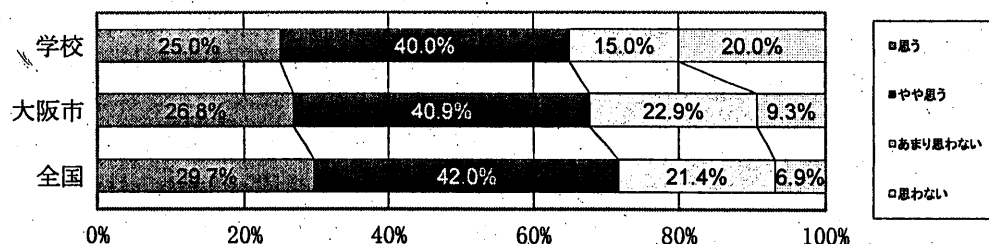
27

保健体育授業で学んだこと
を授業以外の時にも行って
みようと思う



28

保健体育所行で学んだ内
容は将来役に立つ



成果と課題

体育授業が楽しいと答えた割合は約65%であるが、できるようになったきっかけでは先生に教えてもらった。友達のまねをした、教えてもらったなど、できるようになりたいという思いは半数以上の生徒が持っている。このような思いを引き出し、授業に生かすことが大切である。

今後の取組

男子と同じ

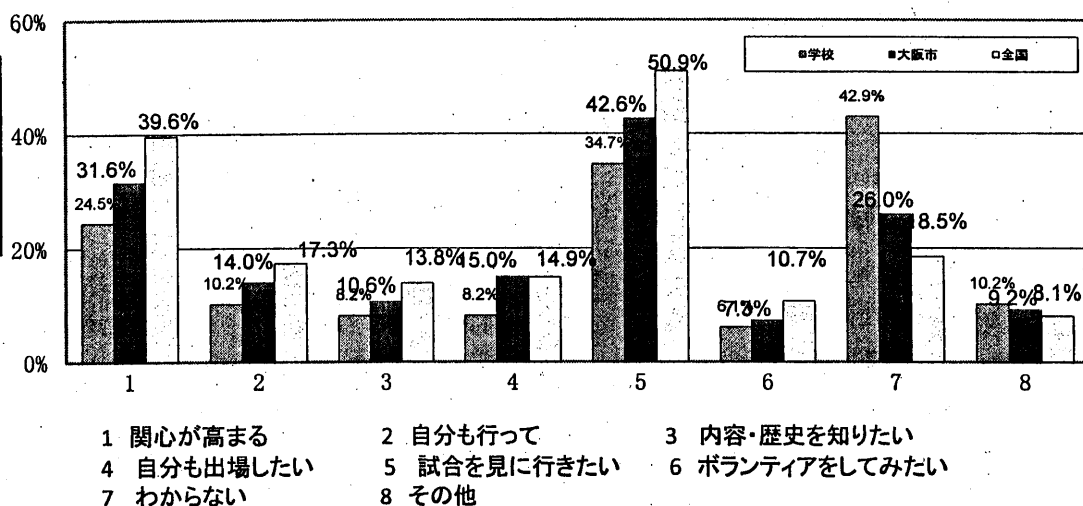
その他（男子）

質問
番号

質問事項

31

オリンピック・パラリンピック
への気持ち



成果と課題

興味関心あまり高くなく、オリンピックが身近なものに感じられていないように感じられる。

今後の取組

オリンピックが近づくにつれて興味関心が高まってくると思うが、オリンピックが日本でお敵われる意義について考えさせることが大切である。

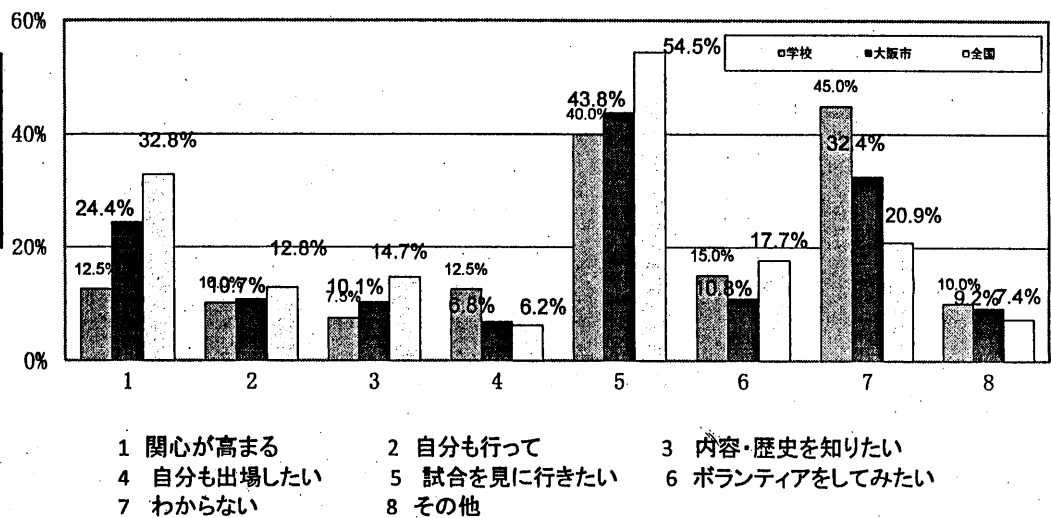
その他（女子）

質問
番号

質問事項

31

オリンピック・パラリンピック
への気持ち



成果と課題

男子と同じ

今後の取組

男子と同じ